学校番号	1015

令和８年度　芸術科

教科	書道	科目	(学)実用書Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「硬筆書写技能検定３級」の合格を目指した実技対策および理論の筆記テストを行います。
・筆記具の扱い方や、字形の構成法などの理論を学び、徹底的な基礎技術の習得を目指すため、根気強く学ぶ姿勢が大切です。
・発展的な課題として、刻字作品などの工芸的な作品制作（ものづくり）も行います。

2　学習の到達目標

・硬筆を中心に，その表現の方法や形式，多様性などについて幅広く理解するとともに，書写能力の向上を図り，書の伝統に基づき，効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
・書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて構想し表現を工夫したり，作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え，書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
・主体的に書の幅広い活動に取り組み，生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，書の伝統と文化に親しみ，書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	美しく整った文字を書こう	●執筆法 持ち方・姿勢・運筆 ●楷書 文字の骨格に応じた適切な字形の取り方 ●ひらがな ●カタカナ ●漢字かな交じり文 ●実技テスト	a:文字の特徴や字形，大きさ，配置，運筆と表現効果の関わりについて理解し，文字を美しく整えて表現するために，必要な技術を身に付けている。 b:整った文字の美しさを感受し，各文字に応じて適切な字形や大きさ，配置，運筆などを工夫している。 c:書のよさや美しさを感受し，作品や書の意味や価値について考えながら，幅広い表現，鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	作品	作品 プリント	 振り返りプリント 観察
2・3学期	硬筆検定対策	●行書 ●検定（実技）対策 速書き 楷書・行書の書き分け 漢字仮名交じり文（縦・横） はがきの表書き 掲示物 ●検定（理論）対策 漢字の部分の名称 漢字の筆順 草書の読み方 正誤判断 ●模擬試験	a:文字の特徴や字形，大きさ，配置，運筆と表現効果の関わりについて理解し，文字を美しく整えて表現するために，必要な技術を身に付けている。 b:整った文字の美しさを感受し，各文字に応じて適切な字形や大きさ，配置，運筆などを工夫している。 c:書のよさや美しさを感受し，作品や書の意味や価値について考えながら，幅広い表現，鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	作品	作品 プリント	 振り返りプリント 観察
3学期	創作作品制作	●これまでの学習を生かした作品制作（創作） 例： 年賀状 ペン字作品(漢詩･小説等) 刻字（彫刻） 砂絵 オリジナルグラス トートバッグ スクラッチタイル	a:用具・用材の特徴や線質，字形，構成等の要素と表現効果との関わりについて理解し，目的や用途に即した効果的な表現の技能を身に付けている。 b:字形，文字の大きさ，全体の構成，目的や用途に即した表現形式，意図に基づいた表現について構想し，工夫している。 c:書のよさや美しさを感受し，作品や書の意味や価値について考えながら，幅広い表現，鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	作品	作品 プリント	 振り返りプリント 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度